

いなべ総合学園高等学校 福祉科目系列 授業報告
月一連載 いな総の福祉

いなべ 福祉

先日、7月25日（水）に伊勢市にある明野高等学校で第4回三重県高校生介護技術コンテストが行われました。今回は7校が出場し、いなべ総合からも、3名の福祉を学ぶ生徒が出場しました！今回はその報告をします。

*三重県高校生介護技術コンテストの詳細につきましては、先号に記載しておりますので、そちらでご確認ください。



コンテストの競技会場

三重県内の福祉を学ぶ7校が競技を行いました。



いなべ総合の競技の様子

利用者本位・自己決定・自己選択を大切に、介護を行いました。

コンテストの課題は、認知症で左上肢麻痺のある81歳の女性の介護を想定したもので、上着の着脱やベッドから洗面台への移動介助を行うものでした。2人の生徒が介護を行い、もう1人の生徒は何を大切にして、介護を行ったかというアピールポイントを考えます。

いなべ総合の結果は、優良賞とセレクト賞でした。このセレクト賞というのは、施設審査員の方からいただいたもので、利用者主体の自己決定と自己選択をとっても大切にしてきたことから、いなべ総合に贈られました。「利用者主体（利用者の立場・視点に立って介護を行う）」や「自己選択・自己決定（どのような状態になっても、自分で選択し、自分で決

めること)」を支援する、ということは授業の中でとても大切にしていたもので、それがコンテスト本番で出すことができ、なおかつ、施設審査員の方からそのように見てもらえたということは、とても嬉しく思います。

生徒たちは、それぞれが持つ、強み・個性を臆することなく存分に発揮していました。結果としては、最優秀賞や優秀賞には届きませんでしたでしたが、生徒たちは自分たちのしたいことはできたと、達成感に満ちた笑顔でコンテストをふりかえっていました。また、生徒たちはコンテストを通して、挑戦することの楽しさに気づいたようで、介護や福祉以外のことでも、挑戦してみたいと意欲を口にしていました。



「優良賞」と「セレクト賞」をいただきました。



出場生徒全員で記念撮影

生徒たちの思い出に残る、とてもすてきなコンテストでした。